

วารสารธุรกิจ

クハルンテープ



Since 1968

NO. 628 | 2021年 10月-12月



タイ国日本人会
Japanese Association in Thailand

新都市鉄道レッドライン
の開通式。8月2日(月)



特集1 オンラインイベント開催報告

タイ国日本人会が支援する チャリティー団体紹介

◎虹の学校 ◎アークどこでも本読み隊
◎Wat Arun Community Learning Center

特集2 50年の歴史を振り返る

日本人会 チャリティーバザーの 歩み・チャリティー基金寄付のお願い

特集3 *D-Hope*

JICAが支援する タイのコミュニティ起業家振興の 取り組み



バンコク市内から車で約1時間半(約60キロ)の隣県ナコンパトムは、自然あふれる魅力がいっぱい。世界最大の仏塔といわれるプラ・パトム・チェディ、皇太子時代のラーマ6世によって建造されたサナムチャン宮殿と美しく広大な庭園など、見どころも豊富。お出かけができるようになったらぜひ行きたい日帰りスポットです。



列車でのんびり。旅気分アップ

ナコンパトム駅

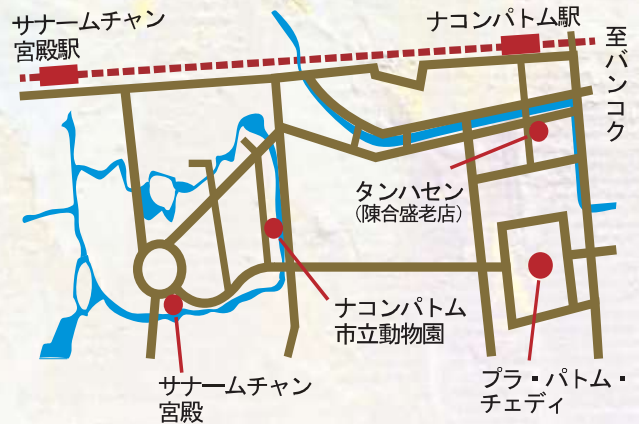
Nakhon Pathom Railway Station

ナコンパトムへ向かうにあたり、列車の旅はいかがでしょう？ 長年の役目を終えようとしているフアランポン駅や新たに開業したバンスー中央駅から約1時間半で到着します。

※2021年8月現在は減便して運行中。タイ国有鉄道のHPやコールセンターに運行状況を確認の上ご利用ください。



<https://www.railway.co.th/Home/Index>
コールセンター1690 (英語可)



access

バンコク市内から車で約1時間半

写真・情報提供/水上貴裕、中村慈恵

広大な緑の庭園とラーマ6世の宮殿

サナムチャン宮殿

Sanam Chandra Palace

ラーマ6世が皇太子時代に、別荘・聖地巡礼の際の住居として建てられました。緑あふれる広大な敷地にはたくさんの池があり、緑と水辺の間合に美しい宮殿が点在しています。ラーマ6世が建てた宮殿は、西洋の建築様式にタイの文化を採り入れた、美しく華麗なデザインのものも多く、当時の様子を伝える博物館として一般公開されています。 →

駅のそばの老舗食堂でお手軽ランチ

タンハセン (陳合盛老店)

Tang ha seng



タイのミシュランといわれるShell Chuan Chim (緑の井マーク)の看板を掲げる老舗食堂。プラ・パトム・チェディへの参拝の後のお昼休憩に最適です。名物は小さなお子さんでも食べやすいカオムーデー(チャーシューのせご飯)とムーサテ(豚肉の串焼き)です。



餌やりも楽しめる市民の動物園

ナコンパトム市立動物園

Nakhon Pathom Municipal Zoo



サナムチャン宮殿の近くには、地元の方に長く愛される無料の市営動物園があります。無料だからと侮るなかれ。動物たちへの餌やりなどを楽しめます。小さなお子さん連れもエンジョイできるのどかな雰囲気、のんびりリラックスできるスポットです。

vol.18 国鉄ナコンパトム駅周辺

バンコクから約60キロ
隣県のナコンパトムは
自然あふれる魅力がいっぱい



世界最大の仏塔

プラ・パトム・チェディ

Phra Pathom Chedi



ナコンパトム駅を出ると目の前に見えるプラ・パトム・チェディは世界最大の仏塔といわれ、なんとその高さは120.45メートル！ 境内には涅槃仏のほか、様々な様式の仏像があり、仏教の教義や釈迦の生涯に関する展示物があります。



P5



P18



表紙：新都市鉄道レッドライン開通式
場所：バンスー中央駅（バンコク）

バンコク中心部とドンムアン空港、タリンチャン、パトゥムタニー県ランシットを結ぶ都市鉄道レッドライン（日本は計2680.81億円の円借款により支援）の開通式が8月2日、プラユット首相、梨田在タイ日本国大使らがりリモートで出席して行われました。正式開業は今年11月の予定。正式開業までの間は運賃無料。

Photo : State Railway of Thailand (SRT)

02 Open to the New Shades

国鉄ナコンパトム駅周辺

バンコクから約60キロ 隣県のナコンパトムは自然あふれる魅力がいっぱい

05 オンラインイベント開催報告

タイ国日本人会が支援する チャリティー団体紹介

●虹の学校 ●アークどこでも本読み隊
●Wat Arun Community Learning Center

10 50年の歴史を振り返る

日本人会チャリティーバザーの歩み チャリティー基金寄付のお願い

●バザーの伝説的な名物べつたら漬けの作り方

15 俳句と短歌の広場

16 きっかけはタイ タイから繋がるライフストーリー 齋藤百合子さん

大東文化大学 国際関係学部国際関係学科 特任教授
人身売買の被害女性が語る言葉に、ひたすら耳を傾けた日々

18 JICAが支援する タイのコミュニティ起業家振興の 取り組み JICA専門家 尾崎嘉洋

23 活動報告

27 タイのお菓子は二度おいしい ムシカシントーン小河修子 グラヤーサート

タイの孟蘭盆会ワンサートタイの「おこし」はバナナと

29 すくすく会通信

30 ゴルフ部のお知らせ

30 編集後記



P27

去る7月14日(水)、
チャリティー団体オンラインイベントを行いました。
今年度、日本人会が支援金を供与した9団体の中から、
虹の学校、アークどこでも本読み隊、
Wat Arun Community Learning Center に
ご参加いただき、タイ社会の中で何を目指し、
どのような活動をしているのか、
その中で寄付がいかに使われているのか、
そんなお話をさせていただきました。

◎特集 オンラインイベント開催報告

タイ国日本人会が支援する チャリティー団体紹介

Wat Arun
Community
Learning
Center



アーク
どこでも
本読み隊



タイ国日本人会は、

タイ社会のために活動している福祉団体を

支援しています。支援金は1972年から開催してきた

チャリティーバザーで、会員・協賛企業の皆様の

物心両面のご協力により得られた純益を原資としたものです。

今年で50年の節目を迎えたチャリティーバザー！

その道程をp10「チャリティーバザーの歩み」で振り返りました。

虹の学校

山地民の孤児や貧困家庭の
子どもたちが共に暮らして学ぶ
オルタナティブ教育の学習センター



虹の学校はカンチャナブリ県にある児童養護施設兼小学校です。タイ・ミャンマー国境にまたがって暮らす少数民族の子どもたちを受け入れて、自然とテクノロジーが調和した、良き循環する生き方を模索し実践しながら学び、生活を共にしています。

私たちは2008年から活動を開始して2014年にタイ政府公認の学習センターとして登録しました。6年間の学習を終えた子どもたちは小学校課程を修了することができます。修了後は虹の学校を寄宿舎として、近隣の公立中学校や定時制の中学高校に通い学業を継続します。

児童は現在31名、先生は6名で、校長の私を含めて7名です。運営元は高知県高法寺の住職、玉城英大さんです。

虹の学校のミッションは一言で言うと、虹色の架け橋で美しい地球を未来につなぐということ。ネイティブアメリカンの人たちには「7世代先のことを考えて生きよう」という考え方があり、私はそれに衝撃を受け、未来の地球を考えて今を生きたいというような、そんな謙虚で聡明な生き方を見習っていきたくと考えています。それから生きとし生けるものそれぞれが、その命と個々の色を尊重し合って未来につないでいけたらという、そんなミッションを掲げています。

学校は、月曜から木曜日には全教科(算数・タイ語・英語・日本

語・理科・社会・家庭科・美術)

をカリキュラムに沿って進め、金

曜日は子どもたちが好きなことに取り組むレインボーデーという時間です。あとはESD(持続可能な発展のための教育)の時間を取っています。

虹の学校の生活は、毎朝5時半の鐘の音で始まります。食事当番の子は朝食を作り、他の子は草引きとか、畑の手入れや掃除や鶏の世話など仕事を分担して行い、共同生活を学んでいます。

虹の学校には「稲作」と「森合宿」という二本の柱があります。稲作は地域の米作りの文化に就いて機械を使わず手で行っています。村の皆さんと協力して、子どもたちも田植えや稲刈りすべてで行なっているんです。大体半年分ぐらいは自給することができます。

もう一本の柱が森合宿です。山岳民族の文化である森で生きる力を養います。虹の学校のスタッフである大工さんたちに引率してもらい、5泊6日を森の中で過ごすというアクティビティを毎年1回行っています。子どもたちは、魚を捕ったり、野草を採ったり、それを料理したり、自分たちで寝床を作ったり。そういう技術を森で身につけます。



校長の片岡朋子さん



子ども一人一人の個性を伸ばし、自分らしい夢を描く



サポートをすること、その夢を叶えるサポートをすること、



彼らが本来備えている優しさと美しさを大事に育てること、



元気に幸せに生きてもらうこと



森合宿

虹の学校の子どもがなぜ無国籍なのか、また少数民族や無国籍の方たちの現状についてお話ししたいと思います。無国籍になる理由はたくさんありますが、私が把握しているのは次の四つです。①山岳少数民族の社会で出生届の制度や習慣がなかった。②自宅出産などで出生証明書が手に入らなかった。③ミャンマーの内戦から逃れてタイ側に来たため、タイ国籍を取る資格がないという方もたくさんいます。④ミャンマーに帰れば取れるが、子どもたちにタイで生きて欲しいため、あえてミャンマー国籍を取らないという家庭もあります。

無国籍であることの弊害については、まず移動の制限があります。サンカブリ郡はミャンマーと国境を接しており特別な地域と認められています。サンカブリから出る場合は役所への届け出が必要で許可が下りなければ出られません。もし許可なしで行ったら捕まってしまう。それから福利厚生が受けられません。病院代も全部払わなくてははいけないし、奨学金も受けられない。保障も受けられないといった支障があります。

子どもたちの親はタイ語の読み書きができない人がほとんどで、そのためゴムのプランテーションなどで日雇いの労働していることが多いのですが、重労働で賃金も安く、月額で6000バーツから1万バーツくらいです。仕事がないときは他の日雇いを探したり、山菜を採って

売ったりして凌いでいます。またプランテーションは転々と移動させる場合があるので、子どもを一定の学校に通学させることが難しい。家庭の教育環境が整っていないため、子どもたちの教育レベルが上がりにくく、それで貧困のループが繰り返されてしまっている。貧困や教育環境により大学進学まで至る人は稀です。タイ国籍を取得できずに不利な条件で生きていくしかない方がまだまだたくさんいるというのが現状です。

最後に虹の学校のサポート方法についてお話しさせていただきます。これまでご寄付に頼っていたのですが、コロナの影響で途絶えてしまいました。今年2月に里親制度を立ち上げました。月々1000円（タイバーツは300バーツ）から子ども一人を応援することができます。

他には子どもたちと作っているNIJIBRANDのハーブティーや竹布製品の購入でもサポートしていただけます。食品や絵本、運動着、パソコンなど必要なものを送っていただく物資の支援もありがたいです。SNSのフォローやシェアもうれしいです。

最後になりましたが、今年度、日本人会チャリティーバザー基金からいただいたご寄付は、学校のスタッフの人件費として使わせていただいております。ありがとうございます。ございました。



竹布製品



虹の学校HP



虹の学校FB



インスタグラム



YouTube



里親・寄付

アークどこでも本読み隊

どんなバックグラウンドの子どもにも大人にも読書の喜びを届けたい
チェンマイの山間地で図書活動



移動図書館の中の様子



大人も利用しています



月に一度、ランマイ図書館を開放して工作や料理、読み聞かせなど。地元の高校生ボランティアがお手伝い



移動図書館「はるの号」の前で本の読み聞かせ

アークどこでも本読み隊はチェンマイ県北部のプラオ郡というところにあります。県の中から100キロぐらい離れた結構な田舎で、アクセスがあまり良くないところです。私たちの活動は読書支援ですが、ただ単に本を読んでくださいという団体ではなくて、楽しい読書を広めることをミッションにしています。といいますのも、タイの人たちは、本は勉強のためだとか賢い人間になるための道具だと思っている方が非常に多くて、その思い込みを壊してしまいたいと私たちは思っています。そのため三つの活動を行っています。

一つ目が図書館活動です。プラオ郡にあるランマイ図書館を中心にした活動です。移動図書館なども行なっています。

二つ目は幼児教育センターです。当初は山の方でも図書館活動しようと思っていたら、皆さんタイ語があまりにも話せなくて、本を持っていても仕方がないということが始めたのが幼児教育センターです。山岳民族

の子どもたちはタイ語ではない言語を母語として育っている子がほとんどで、そういった子どもたちに就学前までの間にタイ語に親しんだり数字に親しんだりしてもらおうような、幼稚園と保育園を足して二で割ったようなところ

です。最後に「こぼこ絵本」制作。これは唯一バンコクを中心に行



(右) 代表の堀内佳美さん (左) スタッフのニックさん。チェンマイ県プラオ郡のランマイ図書館を中継で案内してくれました

なっている活動で、ユニバーサルデザイン絵本を作ったり配ったり売ったりするというプロジェクトです。こちらはまだ試行錯誤しているところです。私は全盲なので、読書推進をする団体をやっているわりに絵本を読んでもらった体験がほとんどないという不思議な人間です。けれど、障がいがあってもなくても、家族で絵本を楽しむ体験ができればいいなと思うのが、このこぼこ絵本プロジェクトの始まりです。

日本人会のチャリティー基金からいただいた寄付は、事務業務と幼児教育センターの先生たちのサポートを主な仕事にしているスタッフの1年分の給料に使わせていただいています。ありがとうございます。

●今年2月に「アークの会」という資金サポートの会を立ち上げました
※1 ボランティアに関して、こぼこ絵本のパーツ制作をはじめいろいろありますので、メールなどでご連絡ください※2

※1 「アークの会」入会申し込みは左のQRコードから (年会費1000パーツ、日本円の場合3000円)
※2 mail:club@alwaysreadingcaravan.org

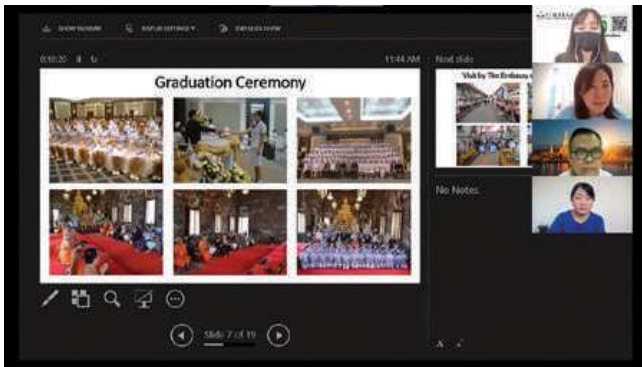


Wat Arun Community Learning Center

人身取引被害予防のため
貧困層の少女たちに専門教育
病院勤務の看護助手に



(右) 初めて支援した2019年の授与式の日、地方から来たばかりの奨学生が日タイの国旗を手にセンターの前で迎えてくれた (左上) 奨学生たちはセンターでタイ舞踊などの伝統文化も学ぶ (左下) 日本文化を伝える交流会を有志が行っている



サイアム大学の卒業式。下段は教育省などの支援によりタイ王室によって執り行われるワットアルンでの卒業式



看護助手の制服を披露してくれた奨学生。前列左から2人目が在学中だったナムさん

Wat Arun Community Learning Centerは、人身

取引被害やドメスティックバイオレンス、麻薬などの被害者となる可能性の高い若者や子どもを守るための活動をしている団体です。

タイの教育省の認可を受けて、ワットアルン(暁の寺)の敷地内にあるセンターで、ノンフォーマル教育を行なっています。施設は2006年にアメリカから支援を受けて建設されました。ワットアルンは世界遺産に登録されているため、建物の建設に制限があるので、地下に教室を作ったりしています。昨年は在タイ日本国大使館の草の根援助で地下教室の改修を行うことができました。

私たちは、貧困や周囲の環境により教育を平等に受けられない子どもたちに教育の機会を与え、正当な仕事に就業できるように無償でサポートしています。近隣のスラムの子どもたちも当センターに来て、英語などを学んでいるのですが、その子どもたちの親は少なからず麻薬や家庭問題を抱えています。私たちは道徳教育も重要と考え、精神鍛錬にも力を入れています。当センターの取り組みで、効果の高さから評価されているのが、人身取引被害予防のための看護生プログラムです。貧困



(右) 代表のハルトント・グナワンさん
(左) 日本人会の支援第1回目の奨学生ナムさんは看護助手になって2年目。ズームイベントに登場

や家庭環境などから被害リスクの高い少女を高卒後に寄宿生として受け入れ、サイアム大学の看護助手課程で1年間学ぶ機会を供与し、卒業後はトンブリ病院に就職するコースです。毎年10人〜15人受け入れていますが、2019年から1人分の奨学金をタイ国日本人会が支援してくださっています。寄付は学校の授業料や制服、交通費などに使用しています。日本人会のサポートでこれまで2人が卒業して看護助手になり、3人目が在学中です。今日は最初の奨学生ナムさんに参加してもらいました。

「こんにちは。ナムです。卒業後は看護助手として病院に勤め、実家に仕送りすることもできるようになりました。ご支援くださった日本人会の皆様から感謝しています。ありがとうございます」

チャリティー バザーの歩み

●特集

タイ国日本人会チャリティーバザーは1972年に始まりました

1972年、日貨排斥運動(日本製品不買運動)により反日感情が高まっている中、タイ社会に何か貢献できないかという想いから始まりました。当時はジムトンプソンの工場に端切れ布をもらいに行き、夜なべをして巾着、ハンガーなどを手作りしたそうです。2003年第32回、それまで婦人部の主催で行なってきたバザーを日本人会が主催することになりました。2005年より会員の皆様の中からバザー委員のボランティアを募り、ボランティアの方を中心に運営を行うようになりました。各企業の奥様の皆様も引き続き手作り作品などを寄付していただき、今につながっています。

2019年には、特別協賛のWiSE様のご協力もありどなたでも参加いただけるようチャリティーバザーをスケールアップ。のべ4000人の方にご参加いただきました。現金・商品寄付の総額は120万バーツを越え、経費を除いた純利益は116万3300バーツと対前年比77%増となり、6年振りに寄付額を更新することができました。例年ですと、9月にチャリティーバザーを開催しておりますが、昨今のコロナウイルス感染拡大の影響、バンコク都の規制なども鑑み開催中止を決定いたしました。しかしながらこれからも、タイ社会に何か貢献できないかという在タイ邦人の想いをつなぎ、時代と共に形態を変えながら継続して実施してまいります。

年表 50年の歴史を振り返る

1972年【第1回】	5月13日開催 会場…日本人会会議室 日本人会会員数…約2400名
1976年【第5回】	会場…アマリンホテルに変更
1980年【第9回】	会場…アマリンホテル 委託店あり ・売り場によっては最後の一品が売りあがったところで拍手と共に喜びの歓声がわきおこって、なぜかほほえましく心温まるものを感じたとクルンテープ誌に。 ・食品を多数出品、手作り作品も時間をかけて作成、夜なべをして制作。 ・手作り品、食品、書籍、衣類生地、中古品が出品される。
1981年【第10回】	会場…アマリンホテル ・クルンテープ誌のバザー報告と御礼の中に「タイ国の人々に健康と豊かさや平和が訪れますように」と記載。



1980年度：第9回目のバザー会場



1991年 【第20回】	1990年 【第19回】	1989年 【第18回】	1987年 【第16回】	1986年 【第15回】	1983年 【第12回】
<p>会場：インペリアルホテル 委託店：11店</p> <p>計120名のボランティアスタッフが運営されていた模様（チャリティー委員は6名）。</p> <p>・出品商品（食品例）タイ国いすゞ自動車・アップルケーキ60B、住友商事・かりんとう50B、三井物産・松前漬け40B、丸紅・ドラ焼き30B、タイ矢崎・福神漬け一夜漬け（手芸例）大使館・知育絵本1000B、トヨタ自動車・クリスマスマスコット600B、三菱商事・マクラカバー150B。</p> <p>・食事券の寄付（現クーポン）も16社より。ほとんどが和食レストラン。</p>	<p>会場：インペリアルホテル 入場者数：1300名</p> <p>・講習会（お弁当小物入れ、お弁当ナプキン）開催。指導を企業の奥様方に依頼。</p> <p>・各企業に寄付依頼。同封書類に奥様方の手作り作品、掘り出し物（現サワデー）品の出品依頼書あり。作品出品のお願い書面に「タイ国にお世話になっております私達日本婦人がタイ国のために少しでもお役に立ちたいと催すもの」と。</p>	<p>会場：インペリアルホテル 入場者数：1331名 委託店：13店</p> <p>・手作り作品・企業寄付98件、現金寄付37件。</p> <p>・手作り講習会（パッチワーク、マクラメ）開催。</p> <p>・サワデー品、食品、手芸品、一般商品があり、食品の品数が多数。手芸品が減少、食品が増加傾向。</p>	<p>会場：インペリアルホテル</p> <p>・バザーチケットを20Bに変更。</p> <p>・初めて試みとして、各レストランに呼びかけて食事券を提供していただき2〜3割引きで販売したとある。</p> <p>・毎年企業の寄付に頼るのがエスカレートしているのではとの反省が記載。</p>	<p>会場：インペリアルホテル 入場者数：1159名 会員数：約3000名</p> <p>・来場者のほとんどが日本人であるよう。手作り作品をタイの人にも見てほしいとクルンテープ誌の掲載記事に。</p>	<p>日本人会設立70周年記念バザー 会場：インペリアルホテル</p> <p>・収益金の半額を会館設立資金に当てる。</p> <p>・漬物、菓子のコーナーが人気。</p>



1990年度：手書きしたポスターのコピーをスーパーや住まいに掲示していた



1989年度：かりんとう・メロンパンコーナー、手作り講習会の作品などの写真とコメントが、当時の婦人部のチャリティーバザー記録ノートに



1986年度：会場のインペリアルホテルの前には朝から長蛇の列(上)。会場の熱気が伝わってくる(右)

1995年
【第24回】

会場…インペリアルホテル
・大根漬け、コーヒーケーキの仕込みで大変だったが良い思い出という内容のこぼれ話がクルンテープ誌10月号に。

1998年
【第27回】

会場…ヒルトンホテルに変更
・バザーの規模が大きくなり、原点に戻ってはどう意見が出つつも前年同様に行なっていた様子。寄付集めに少々無理をしている様子も。

1999年
【第28回】

会場…ヒルトンホテル
・委員が知恵を出し合い、寄付先を検討している様子が伺える。
・バザーから寄付までの一連の流れを理解してもらいたいと、バザー委員長がクルンテープ誌に記事を掲載。委員になったら大変という認識の人が増えて委員のなり手が不足している。「この国の事情を知って、何か出来ることはと考えるのが筋ではないか」と問題提起。

2000年
【第29回】

会場…ロイヤルメリディアンホテルに変更

2001年
【第30回】

会場…バムルンラード病院に変更 入場者数…1773名
・会場が狭いため委託店なし。病院本館でのミニバザー。
・売り場を、従来の会社ごとではなく種類別に変更。
※アメリカ同時多発テロのため、文化祭、ラムウオン盆踊り大会は中止。

2002年
【第31回】

会場…バムルンラード病院 チケット販売枚数…2287枚
・開催時間は午後13:30から。
・2002年まで婦人部がバザーを担当し、婦人部の中からバザー委員を選定。小さなお子さんがいる人はバザー委員をはずすというような申し送りがあった模様と議事録に。

2003年
【第32回】

会場…バムルンラード病院
・婦人部主催から日本人会主催に変更。
・委託店を開始し、婦人部がこれを担うことに。
・ボランティアスタッフを運動第1部、運動第2部、文化部、婦人部に依頼。



2002年度 婦人部主催
第31回チャリティーバザー
クルンテープ2002年8月、10月号より



婦人部、チャリティーバザー委員



手作りブース



2002年度：手作りの数々



1990年度：バザーに出品するための手作品（牛乳パック小物入れ、パッチワーク）講習会を開催

度：人気商品べつたらタイ矢崎の奥様会が作ってきた伝統の味。p14ピ公開！

2021年	2020年	2019年	2015年	2014年	2011年	2005年	2004年
		【第48回】	【第44回】	【第43回】	【第40回】	【第34回】	【第33回】
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため中止。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため中止。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会場…ウエスティングラนด์デスクムビットに変更 入場者数…約4000名 ・入場料を廃止し、誰でも予約不要で入場可能に。 ・フリーペーパーWiSEが特別協賛。 ・大型家電やバイク、カメラなどが含まれる新企画のチャリティーオークションとチャリティーくじが好評。 ・タイ社会に貢献している団体のコーナー「買って応援ブース」を新設。 	<ul style="list-style-type: none"> 会場…ホリデイインバンコクに変更 	<ul style="list-style-type: none"> 会場…センタラグラนด์ホテルに変更 ・前年までの会場インペリアルクイーンズパークホテルが突然の改装工事宣言。会場選定の必要に迫られセンタラグラนด์ホテルに決定。 	<ul style="list-style-type: none"> ※3月11日、東日本大震災発生。 会場…インペリアルクイーンズパークホテル 	<ul style="list-style-type: none"> 会場…インペリアルクイーンズパークホテル 入場者数…1468名 ボランテニアスタッフ…約150名 ・収入146万7000B（入場券、寄付商品売上、委託店出店料）。 ・バザー委員と事務局が運営し、各企業の奥様会、同好会が協力。 ・新しい試みとして100B、200Bのお楽しみ袋を販売。100B袋の売れ行き良好。 	<ul style="list-style-type: none"> 会場…インペリアルクイーンズパークホテルに変更 入場者数…1646名 委託店…30店 ・委託店は女性の目から見た楽しい魅力あるお店という選考基準。 ・手作り品、寄付商品、田舎風おはぎあり。 ・お昼のお弁当作りのボランテニアがあった。 ・チャリティーバザー実行委員長と婦人部長がバザー会場を下見、ホテルと調整。当時は会長、副会長、理事がバザー委員を務めていた。



2019年度：チャリティーオークション、チャリティーくじ、マジックショー、買って応援ブースなど多彩な企画が好評



2017年
濱けは
り続け
でレシ

寄付のお願い

タイ国日本人会は、1973年に日本人会創立60周年を記念しチャリティー基金を設立して以来、日本人会チャリティーバザーでの企業・団体様からの現金寄付・商品寄付などを原資に、これまで50以上の団体へ総額3000万バーツの寄付を行ってきました。

昨年はチャリティーバザーが開催できない中でも、繰越金を活用しタイ社会への貢献活動を継続いたしました。今年も寄付金を募集する事を決定いたしました。チャリティー基金寄付金につきましては、チャリティー基金運営

委員会にて寄付先を十分に検討した上で奨学金・孤児施設・障害者施設等の団体への寄付に使わせていただきます。タイ社会への貢献活動を継続すべく、ご協力のほどよろしくお願いたします。

※寄付のご案内および「タイ国日本人会チャリティー基金現金寄付申込書」は日本人会ウェブサイトをご覧ください。

<https://jat.or.th/jp/news-detail.php?id=2493>

【お問合せ先】タイ国日本人会事務局(本館)

TEL: 02-236-1201

Email: info@jat.or.th



タイ国日本人会からタイ赤十字社へ献血車寄贈 納車式
Japanese Association in Thailand Donate to Thai Red Cross Society THB 8,000,000.-
Feb 20th 2018

タイ赤十字社に献血車寄贈 2018年



Wat Arun Community Learning Center



サンファンサンティパーブ財団



プレー盲学校



ドゥアンプラティープ財団

日本人会チャリティーバザー

伝統のべったら漬けレシピ

公開!

タイ矢崎奥様会が毎年、チャリティーバザーに提供してくださっていた手作りのべったら漬け。毎回バザー開始後あつという間に売り切れてしまう大人気商品でしたが、2019年のバザーを最後に提供を終了されたとのこと。

今回お世話役さんにお願ひし、特別にべったら漬けのレシピをお教えいただきました! 簡単な材料で作れる伝統の味です。ぜひ作ってみてください。

幻の!べったら漬けレシピ

【材料】	
・大根	2.5本
・米麴	300g
・砂糖	200g
・塩	30g
・ミツカン酢	50ml

【作り方】

1. 大根の皮をむき、半分に切り更に縦に半分切り4切れにする。
2. ジップロックに麴・砂糖・塩・ミツカン酢を入れてよく混ぜる。
3. 大根(10切れ)を入れ、空気をよく抜いて口を閉じる。
*揉みにくくなるので、空気はよく抜く!
4. 冷蔵庫で1週間漬け込む。
1日1回ジップロックの上から「おいしくな〜れ!おいしくな〜れ!」と唱えながらよく揉む。
5. 1週間後、水分を捨てて、大根についた麴を取り除き、食べやすい大きさにカットする。
*水で洗い流さない!



1週間漬け込んで出来上がり。さあ、召し上がれ!



ジップロックに麴・砂糖・塩・酢を入れてよく混ぜ、大根を入れ、空気を抜いて口を閉じる



材料

俳句と短歌の広場

◆メナム句会は、二〇二二年六月〜八月句会（兼題・ケムの花「イクソラ」）、雹、灼く、他、または当季雑詠）から自選一句です。

◆バンコク短歌会は、二〇二二年五月〜八月歌会（題詠・朝日、雨、日付の入った歌、他、または自由題）から自選一首です。

まだ青きバナナの樹下や夢あまた イーブン美奈子

立秋の風の生まるる空手・形 岩田真之介

右往左往天変地異也雹雹雹 浮田恒夫

炎暑日や葉風に遊ぶ蟬の声 大竹茜子

植木屋で低く咲いてるケムの花 阪口ぐつち

焦がし鍋残暑の夜半に磨きをり 堀井京子

蟬の声今朝はジーからジンジンへ 山本良子

メナム句会のご案内

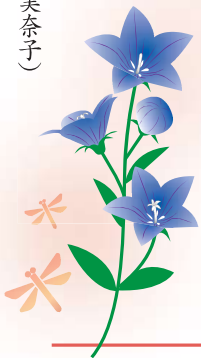
日時 第二土曜・十五時〜

場所 本館会議室&オンライン

電話 〇九〇・九七〇・一二五六

メール minakobar@gmail.com

(イーブン美奈子)



くれなゐをすこし纏うてもう明日はないかもしれぬ
朝日の昇る
イーブン美奈子

窓に差す朝日の筋の眩しさで我が家の東初めて知りぬ
北館尚子

日本から届いた封書消印は遠い国なりコロナ禍の今
阪口ぐつち

勿体無い五月五日の誕生日生まれた時から一つ損して
斎藤由利子

ジンギスカン鍋の下敷く新聞紙選ぶはいつも朝日新聞
申人

「雨だれ」を奏でていると切なくていつも涙が落ちそうになる
那須世子

古希祝いはパタゴニアなる地ですると言いだす妻の
一月三日
森上美恵子

スコールで軒下借りるタイの空雨々ふれと母の声聞く
山本育子

バンコク短歌会のご案内

日時 第四日曜・十七時〜

場所 その都度変わります。オンラインあり。

電話 〇八九・八九一・一六八三

メール mickobkk@gmail.com

(森上美恵子)

